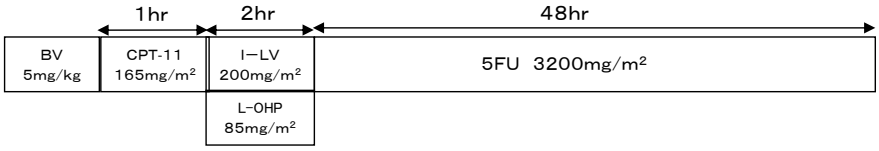
担当医/指導医	/
目的	□ 積極的治療　□ 症状緩和 □ 術前補助　□ 術後補助
告知程度	□全告知　□部分告知　□未告知
告知内容	□ 癌（ 原発 ・ 再発 ・ 進行 ） □ 抗癌剤を使用する
服薬指導	□ 依頼する 看護師（　　）薬剤師（　　）
HBV感染スクリーニング	□ 確認済み

身長:　　cm	体重:　　Kg
体表面積	m^2

大腸癌　FOLFOXIRI+BV療法（インフューザーポンプ使用）



1コース　2週間

投与開始日　　年　　月　　日　　コース予定

● Bevacizumab　5 mg/kg （BV：一般名ベバシズマブ、商品名アバスチン） 《必要抜き取り量計算式》	投与量:　　mg	抜き取り量:　　mL 5mg/kgの場合抜き取り量（mL）＝ 体重(kg)×0．2(mL/kg)	
● CPT−11　$165mg/m^2$ （CPT−11：一般名イリノテカン、商品名カンプト）	計算量:　　mg	投与量:　　mg	
● L−OHP　$85mg/m^2$ （L−OHP：一般名オキサリプラチン、商品名エルプラット）	計算量:　　mg	投与量:　　mg	
● レボホリナート　$200mg/m^2$	計算量:　　mg	投与量:　　mg	
● 5−FU（持続静注）　$3200mg/m^2$ （5-FU：一般名フルオロウラシル、商品名フルオロウラシル）	計算量:　　mg	投与量:　　mg	

【投与スケジュール】

Day1～3	内服薬　アプレピタントcp125mg　カンプト開始1時間～1時間30分前に服用			
	投与時間は右記を参照	1）生食　100mL　1V		投与時間：初回投与時は９０分かけて点滴静注する。初回投与の忍容性が良好であれば、２回目の投与は６０分間で行っても良い。２回目の投与においても忍容性が良好であれば、それ以降の投与は３０分間投与とすることができる。
		アバスチン　（　　）mg		
	15分	2）パロノセトロン点滴静注バッグ 0.75mg/50mL　1V デキサート　1．65mg　5A		
	1時間	3）5%TZ　250mL　1V		
		ブスコパン　20mg　1A		
		カンプト　（　　）mg		《４−1)と4−2)は同時に投与》
	2時間	4−1）5%TZ　250mL　1V	2時間	4−2）5%TZ　250mL　1V
		レボホリナート（　　）mg		エルプラット（　　）mg
	インフューザー48時間	5）生食　100mL　2V		全量240mLになるように、生食の量を調節
		5−FU　（　　）mg		
		6）ヘパリンNaロック用10単位/mLシリンジ10mL　1A		

【Day2～4の内服薬】

Day2～3	アプレピタント(80mg)	1cp	午前中	2日間
Day2～4	デカドロン(4mg)	2錠	分2 朝・昼食後	3日間